

# 慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）

## Q&A

（2015年6月23日付）

慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）

Keio Academy of New York

3 College Road, Purchase, NY 10577

お問い合わせ先：[keiony@keio.edu](mailto:keiony@keio.edu)

[www.keio.edu](http://www.keio.edu)

# 慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）に関するQ&A

## 目 次

- ★ 学校生活について …… 1
- ★ 寮生活・通学について …… 2
- ★ 卒業後の進路について …… 3
- ★ 出願資格について …… 4
- ★ 入学試験について …… 5
- ★ 出願について …… 8
- ★ 授業料等について …… 9
- ★ その他…… 10

資料 1 カリキュラム

資料 2 成績の基準

資料 3 課外活動

資料 4 卒業後の進路

資料 5 2016年度入試概要

## 慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）に関するQ&A

### ★ 学校生活について

#### Q1. 新学期開始はいつですか？

A. 慶應義塾ニューヨーク学院（以下、学院という）は9月に新学期が始まります。9月～1月までの前期と、2月～6月までの後期の2期制です。

#### Q2. 学級数・生徒数はどのくらいですか？

A. 9学年（中3）2クラス、10～12学年（高1～高3）各学年4クラスです。1クラスの生徒数は約25人です。

##### <生徒数>

2014年度	9学年	10-12学年	合計
生徒数	41 (18) 名	296 (147) 名	337 (165) 名

\* ( ) は女子で内数  
2014年10月1日現在数

#### Q3. 教職員はどのくらいいますか？

A.

##### <教職員数>

教員	45 (23)
職員	38 (25)
専門職員	21
合計	104

2014年9月1日現在数

\* カッコは内数で日本語を母国語とする教職員数

\* 専門職員はコーチ・校医

#### Q4. 授業は英語のみで行われるのですか？

A. 科目によって、英語と日本語の両方の授業があります。現在全科目のうち約6割（選択科目および担当教員による）の科目が英語で行われています。また日英両語のいずれかが不十分な生徒に対しては、ESL (English as a Second Language) および Nihongo (Japanese as a Second Language) の授業が各生徒の語学能力向上のために設けられています。カリキュラムについては資料1をご参照ください。

#### Q5. 日本からの新生生は英語で行われる授業についていけるでしょうか。

A. 入学試験終了後から入学までには時間がありますので、英語または日本語の語学力の上達を図るにあたり適当な勉強をされることをお勧めいたします。また、合格後、学院カウンセラーが語学勉強を含めた入学までの準備についてアドバイスをさせていただくことも可能です。

#### Q6. 生活面でどの程度の英会話力が必要なのですか？

A. 生徒のほとんどは日本人ですが、約6割の授業が英語で行われますので、日常的なコミュニケーションに支障がないレベルの英会話力は必要です。

- Q7. 日常生活において日本人同士が日本語で生活してしまうことで、英語力が伸びなくなるといことはありますか？
- A. 日本語を母国語としている生徒が多いので、英語力を伸ばすためには、活発的にスポーツや課外活動に参加し、現地校の生徒と接触する機会を増やす努力などが必要となります。学院では、現地校との文化交流を行うなどして、そのような機会をなるべく多く提供しています。また、英語で授業を行う教員と積極的にコミュニケーションを持つことも大切です。
- Q8. 標準的なカリキュラムがありますか？選択制、単位制が通常ですが、学年制で進むのが通常なのでしょうか？
- A. 学年制で進みます。12学年では医学部、理工学部又は薬学部に進学を希望している生徒は理数系のコースを履修する必要があります。カリキュラム詳細は資料1をご参照ください。
- Q9. 成績はどのような基準になっているのでしょうか？
- A. 資料2をご参照ください。
- Q10. 課外活動にはどのような活動がありますか？
- A. 生徒のおよそ80%が部活動を行っています。（資料3をご参照ください。）近年では、アメリカの高校で行なわれているサービスマーケティング（学外奉仕教育）を参考に、生徒が地域社会の一員として、英語力を生かしながら社会勉強を実施しています。
- Q11. クラブ活動とは別にピアノなどのレッスンなどの個人指導は受けられるのでしょうか？
- A. 個人的に家庭教師や楽器の指導をしてくださる方をアレンジするのは可能ですが、学院の施設を使う場合は学院に届け出る必要があります。
- Q12. 在学中に両親が日本に帰国することになった場合、日本の慶應義塾一貫教育校に編入できますか？
- A. 慶應義塾一貫教育校への編入制度はありません。通学生の場合で、保護者が本帰国される際には、生徒は入寮できます。

## ★ 寮生活・通学について

- Q13. 寮に必ず入らなくてはいけないのでしょうか？
- A. 全寮制ではありませんので通学も可能です。自宅通学が困難な生徒を対象に、寮を併設しており、現在全校生徒のおよそ90%が寮を利用しています。
- Q14. 近隣に住んでいますが、入寮を申し込むことは出来ますか？
- A. 入寮許可については、保護者が通学が困難な地域に住んでいる生徒を優先して決定いたしますので、学院周辺にお住いの方で、学院が通学可能と判断した場合は、原則として入寮をお断りすることになりますのでご了承ください。
- Q15. 寮は何人部屋ですか？
- A. 各居室2名で共有しています。
- Q16. 寮のルームメートは、どのように決めているのですか？
- A. 新入生の時は、学院側で決めます。在学生の場合は生徒が提出するルームメート希望願をもとに学院側が決めます。

**Q17. 寮生活では外出は許可されますか？**

- A. 平日の外出は特別な許可があれば認められます。また週末の日中は、ホワイトプレーンズやハリソンなど学院で定められた地域であれば引率者なしで出かけることができます。  
11・12年生は事前に保護者の許可を受けた上で、引率者なしでマンハッタンに行くことができます。また学院では、美術館や博物館での校外学習・芸術鑑賞・買い物ツアー等を行っています。

**Q18. 寮ではどのようなスタッフがケアしているのですか？**

- A. 各フロアに寮監が1名（夫婦の場合もあります）。  
ヘルスセンターは平日は7:30～19:30、土日は12:00～19:00 まで開室しています。

**Q19. 寮では身の回りのこと（クリーニング・部屋の掃除）はどうなるのでしょうか？自分たちでするのでしょうか？**

- A. 部屋の掃除は本人、また、廊下やシャワールーム等共有する場所は専門のクリーナーが掃除します。洗濯は生徒が無料で使用できる洗濯機・乾燥機が寮内にあります。週末、近辺のドライクリーニング店を利用することもできます。

**Q20. 寮生は、夏休みや冬休みは寮を出るのですか？**

- A. 夏休みと冬休みは寮が閉まるので、寮生は退寮します。その他、春休み（1週間）、サンクスギビング休暇（5日間）は寮に滞在可能です。夏休みと冬休みは退寮の日に合わせて、学院と契約のある旅行会社が提供する日本への里帰り便のパッケージを利用することも可能です。

**Q21. 通学生はどのように通学しているのでしょうか？**

- A. 規定により、学院専用のスクールバスもしくは地域スクールバスで通学しています。学院専用のスクールバスは、Cos Cob, Greenwich, Old Greenwich, Riverside, Rye, Rye Brook の地域で運行しています。（運行最少人数に満たない場合は、運行が休止される場合があります。また、運行地域等は変更になる可能性がありますので、詳細は学院事務室までお問い合わせください。）

**Q22. （保護者の送迎による）自動車通学は可能でしょうか。**

- A. 申請書を提出いただき、許可が下りれば可能です。

**★ 卒業後の進路について**

**Q23. 卒業資格について教えてください。**

- A. 本学院は文部科学省の「在外教育施設」指定校であると共に、米国ニューヨーク州教育評議委員会に教育法人として登録されています。卒業後は日米両国の高校の卒業資格が得られますので、慶應義塾大学以外の日米の大学への進学も可能です。

**Q24. 卒業後は慶應義塾大学に進学できるのでしょうか？**

- A. 本学院の卒業生は学院長の推薦により、慶應義塾大学10学部のいずれかに進学することができます。

**Q25. 慶應義塾大学に進学した場合は、希望の学部に進学することができるのでしょうか？**

- A. 学部の選択は自由ですが、決定にあたっては成績等により判定されます。

**Q26. 卒業後の主な進路はどのようになっていますか？**

- A. 資料4をご参照ください。

- Q27. 慶應義塾大学に進学する場合、6月に卒業した後、9月入学出来る学部はどの学部ですか。  
A. 慶應義塾大学では法学部、総合政策学部、環境情報学部の3学部で9月入学を実施しています。

### ★ 出願資格について（一般入試・AO入試共通）

第9学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校（日本人学校を含む）で学校教育の8年目または9年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

- \* 8年目の課程とは、日本の中学2年生の課程に相当します。
- \* 9年目の課程とは、日本の中学3年生の課程に相当します。

第10学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校（日本人学校を含む）で学校教育の9年目または10年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

- \* 10年目の課程とは、日本の高校1年生の課程に相当します。

#### 1 居住地について

Q28. 居住地はアメリカ国内である必要はありますか？

- A. 居住地は問いません。

Q29. 現在は日本在住ですが、受験はできるのでしょうか。

- A. できます。

Q30. 入学者はどのような国から受験していますか？

- A. 入学者の出身校が所在する国は世界約30カ国におよびます。過去数年の実績は、次のとおりです。オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、韓国、マレーシア、メキシコ、中国、英国、キューバ、フィリピン、ベネズエラ、南アフリカ共和国、タイ、ニュージーランド、ルクセンブルク、インドネシア、ロシア、米国、日本、ロシア、ルーマニア、スロベニア、セルビア、ウクライナ、パキスタン、インド、スイス、デンマーク、チェコ、スペイン、シンガポール、アルゼンチン、グアテマラ、トルコ、アラブ首長国連邦、ケニア、ミャンマー

#### 2 居住形態

Q31. 両親そろって国外に居住していなければいけないのでしょうか？

- A. いいえ、受験生の居住形態は問いません。受験生が単身で海外留学などをしていても出願資格はあります。また居住地も問いませんので、受験生が両親と同居せずに日本の学校に通学している場合も出願資格はあります。

#### 3 居住地の学校

Q32. インターナショナルスクールに通っていますが、出願資格になりますか？

- A. 所定の学年を修了（または修了見込み）すれば出願できます。

Q33. 日本人学校の出身は出願資格になるのでしょうか？

- A. 所定の学年を修了（または修了見込み）すれば出願できます。

Q34. 11年生以上の学年からの編入や学期の途中での編入の機会がありますか？

- A. ありません。

#### 4 再受験について

**Q35. 今年第9学年を受験して不合格だったので、別の学校に入学して、来年第10学年を受験したいのですが受験できますか？**

A. 別の学校で第9学年を修了見込みまたは修了していれば受験できます。

**Q36. 一度A〇入試または一般入試を不合格となった場合、同じ年の再受験はできますか。**

A. 募集要項の出願資格を満たしていれば、年に3回の入試（A0秋季・一般入試・A0春季）を受験することができます。

**Q37. 保証人、紹介者は必要ですか？**

A. 出願および受験のための保証人・紹介者は、一切必要ありません。

#### ★入学試験について

入学試験には一般入試とA〇入試があります。詳しくは資料5 をご参照ください。

	募集人数	時期と回数	選抜方法
一般入試	一般・A0入試あわせて各学年60名	年に1回：2月下旬～3月初旬に試験	国語・英語・数学の筆記試験・面接
A〇入試	一般・A0入試あわせて各学年60名	年に2回：（秋季・春季）12月と6月に試験	一次選考：書類選考 二次選考：英語および日本語の小論文・数学基礎計算テスト・面接

#### <一般入試について>

**Q38. 一般入試の選考はどのように行われていますか？**

A. 入学試験時に行われる筆記試験（国語、英語、数学）と面接の他、提出された書類（成績、推薦状等）を加えた総合評価で決定されます。

**Q39. 偏差値はいくつでしょうか？**

A. 学院の筆記試験は国語、英語、数学の試験、面接や提出書類を加えた総合評価をいたしますので、日本の学校の基準である偏差値はありません。

**Q40. 合格最低点などの基準はありますか？**

A. いわゆる「足きり」のような合格最低点などの基準はありません。

**Q41. 過去の問題集を入手したいのですが？**

A. 学院ホームページにてダウンロードできます。

**Q42. どの程度の英語能力が要求されますか？**

A. 英検2級またはその同等レベルを取得していることをお奨めいたします。卒業時までTOEFL PBT530点(iBT71点)以上を目標としてください。

**Q43. 英語の試験に英和辞典を持ち込んではいけないのでしょうか？**

A. 筆記試験への参考書や辞典の持ち込みは一切禁止しています。

**Q44. 日本から受験したいのですが、日本からは何名くらい入学を許可する予定ですか？**

A. 国別の入学者枠は設けていません。

**Q45. 日本からの出願者の試験問題は別にあるのですか？**

A. 日本から受験される志願者も海外から受験される志願者も試験の内容は同じです。

**Q46. 日本の英語教育で得られる程度の英語力でも入試の問題には対応できるのですか？帰国生でもなく、日本の中学校での英語教育しか受けておりませんが、入学は可能でしょうか？**

A. 本学院には、日本の学校又は海外の日本人学校にのみ在籍していた生徒（日本の教育を受けてきた生徒）もいます。日本の教育のみを受けている生徒でも、合格の可能性は十分ありますので、入学試験だけではなく入学後の学校生活に備えての英語力を身につける努力をしてください。

### <AO入試について>

**Q47. どのような生徒が対象となるのですか？**

A. AO入試では単に一面的に学業だけで志願者の資質を判断するのではなく、志願者個人の優れた才能や能力で多面的に判断して選考します。例えば、芸術やスポーツで顕著な成績をあげている、あるいはボランティア活動に熱心に参加してきたなど、学院での学生生活を活性化できる才能を求めています。

**Q48. 数学の基礎計算テストにはどんな問題が出ますか？**

A. 学院ホームページで過去問題をダウンロードすることができます。

**Q49. AO入試の活動報告書/Portfolioにはどのようなことを記載すればよいですか？**

A. AO入試には書類選考があり、活動報告書/Portfolioに記載されている内容は重要です。英語力は特に重視されますから、英語力を証明する資格・公的テストのスコア（英検、TOEFL、TOEICなど）があることが望ましいといえます。文化・芸術活動、スポーツ活動などを記入する欄もあります。英語に関するもの以外で取得した資格・技能検定などがあれば、記入してください。すべての活動・資格・技能の報告には、それを証明する書類・資料（コピー可）を必ず添付してください。添付書類・資料のないものは評価の対象になりませんので、ご注意ください。

**Q50. AO入試の英語・日本語小論文、数学基礎計算テストの時間配分を教えてください。**

A. 小論文は各50分、数学基礎計算テストは30分です。

**Q51. AO入試筆記試験の過去の試験問題を入手したいのですが？**

A. 学院ホームページにてダウンロードできます。

### <一般入試・AO入試共通事項について>

**Q52. 試験会場はどこですか？**

A. AO入試の第二次選考は、本学院のほかに東京（慶應義塾大学三田キャンパス）でも行います。試験会場（ニューヨークまたは東京）は、志願者が在籍している学校の所在地をもとに本学院にて決定いたします。一般入試は、本学院（ニューヨーク）でのみ行われます。

**Q53. 日本で一般入試が実施される予定はないのでしょうか？**

A. 検討中です。



**Q54. 面接はどのようにして行われますか？**

- A. 以下の3種類の面接を実施しています。(各10~15分程度)
- ①受験者と英語での面接
  - ②受験者と日本語での面接
  - ③受験者および受験者の親権者との面接

**Q55. 仕事の都合で、両親そろって面接に行けないのですが、認められますか？**

- A. 面接にご両親がそろわなくても、試験結果への影響はありません。

**Q56. 面接はどのような服装で臨むべきでしょうか？**

- A. 面接に適した服装でお願いいたします。

**Q57. 面接ではどのようなことが質問されるのでしょうか？**

- A. 面接は本人の特性・将来性を理解するために実施しているので、その目的に沿った質問をします。

**Q58. 入試倍率はどのくらいですか？また、日本からの受験者はどのくらいいるのでしょうか？**

<2013年度/2014年度入試状況>

	学 年	募集数 (A)	年度	出願者数 (B)		日本 受験者数 (C)		日本 合格者数 (D)		日本 合格手続数 (E)		日本 競争率 (C/D)				
					( )		( )		( )		( )		( )			
一般入試	第9学年	一般入試 AO入試 あわせて 各学年 60名	2013	14	(4)	10	14	(4)	10	10	(4)	7	10	(4)	7	1.4
			2014	19	(7)	11	18	(6)	10	11	(2)	8	11	(2)	8	1.6
	第10学年		2013	41	(14)	36	35	(13)	31	20	(7)	17	19	(7)	17	1.7
			2014	29	(15)	23	26	(15)	21	16	(13)	13	14	(11)	12	1.6
AO入試 秋季	第9学年	一般入試 AO入試 あわせて 各学年 60名	2013	27	(11)	15	27	(11)	15	15	(7)	8	15	(7)	8	1.8
			2014	28	(9)	12	28	(9)	12	15	(6)	7	15	(6)	7	1.9
	第10学年		2013	63	(28)	47	63	(28)	47	36	(18)	24	35	(17)	23	1.7
			2014	58	(27)	40	57	(27)	39	31	(13)	20	31	(13)	20	1.8
AO入試 春季	第9学年	一般入試 AO入試 あわせて 各学年 60名	2013	12	(7)	9	12	(7)	9	9	(7)	8	9	(7)	8	1.3
			2014	17	(8)	8	17	(8)	8	13	(8)	6	12	(7)	6	1.3
	第10学年		2013	33	(14)	20	33	(14)	20	14	(9)	5	13	(8)	5	2.3
			2014	12	(3)	7	12	(3)	7	10	(2)	5	10	(2)	5	1.2

\* ( ) は女子で内数      \* 日本の欄は日本からの受験生で内数

## ★ 出願について <一般入試・AO入試共通>

**Q59. 出願の時期には日本に親類がいないので、日本の学校の成績証明書は事前に取得しておいてもよいのでしょうか？**

A. 所定の用紙が出願される入試年度のものであることをご確認ください。

**Q60. 成績証明書かわりに通知表のコピーを提出してもよろしいですか。**

A. 通知表のコピーを受領することは出来ません。必ず学校で厳封されたものをご提出ください。

**Q61. 「推薦状は所定用紙で提出」となっていますが、所定の用紙が変更になったとしても、赴任する時点での所定用紙で認められるのでしょうか。**

A. 所定の用紙が、出願される年度のものであることを確認してください。年度数が合っていれば、問題はございません。

**Q62. 学校の成績が絶対評価で決まるため、評価書の「成績順位」「上位何%」の欄に記入できません。どうしたらよいのでしょうか。**

A. 「成績順位」「上位何%」については、学力を総合的に判断するために記入をお願いしています。どうしても記入が難しい項目がある場合は、その旨を評価書に明記していただき、「所見」についてはできる限り詳しく記入していただけるよう、学校側に依頼してください。

**Q63. 調査書、内申書の参考度はどのくらいですか？**

A. 一般入試では、成績表等の書類、筆記試験と面接の結果を含む総合評価をもとに選考を行います。そのため成績表上で取得していなければいけない最低限レベルなどは設定していません。AO入試では、第一次選考で書類審査を、そして第一次選考合格者のみを対象とし、第二次選考（筆記試験及び面接）を行います。

**Q64. 出願書類はどのように送ったらよいのでしょうか？**

A. 必ず郵便局のEMS ( Express Mail ) または DHLやFedEx等のクーリエ便など、学院側が書類を受領したことが確認できる送付方法で発送してください。米国国内の場合でも、同様にお送りください。

**Q65. 送った書類がニューヨーク学院で受領されたかはどのように確認すればよいですか？**

A. EMSやクーリエ便で送付いただいた書類のTracking Number (追跡番号) を元に郵便局や宅配便業者のウェブサイトにて追跡及び書類到着の確認をすることができます。直接学院にお問い合わせいただいても、一日に受領する書類が多数あるため即答することができません。学院からは書類受領の連絡は行っておりませんので、各自、上記方法で確認されることをお勧めいたします。学院からは、提出書類に不備がある場合、Eメールにて連絡いたします。

**Q66. 第10学年に志願したいものの、高校に入学したばかりで、推薦状を書いてもらうのが難しいのですが、また、成績証明書は必要でしょうか？**

A. やむを得ない事情がある場合には学院事務室の教務・入試担当にご相談ください。成績証明書については、指定されている学年のものが必要となります。

**Q67. 新入生対象の奨学金はあるのでしょうか。**

A. 出願時に受け付ける「授業料減免に関する奨学制度」があります。詳細は募集要項一式に含まれています。

### \* 学院からのお願い

ここ数年、出願期日の間に書類を発送される方が増えていますが、もしも書類不備があった場合には、期日内に出願が完了しない可能性が生じます。学院が、期日までになすべての出願書類を受領しない限り、その志願者に対する選考は行いませんのであらかじめご注意ください。

★ 授業料等について

Q68. 年間の授業料等について教えてください。

A. 2015-2016年度費用

	項 目	寮 生	通学生
1	入学金	\$3,700	
2	授業料	\$24,700	
3	寮費	\$14,800	
4	昼食費		\$2,450
*5	スクールバス費		\$6,500
6	教材費等預り金(一般)(生徒医療保険料込み)	\$2,000	
7	施設設備費	\$1,600	

\*5 地域スクールバスで通学できる場合は不要

<初年度年間学費>

寮生 (1~3、6~7)	\$46,800
通学生(学院バス利用者) 合計 (1・2・4~7)	\$40,950
通学生(地域バス利用者) 合計 (1・2・4・6・7)	\$34,450

<上記以外にかかる費用>

- ・入学検定料：\$500
- ・プリエントリー・プログラム費：\$1,000
- ・Parent's Association 会費：\$70
- ・基準服(制服)代(基準服を週3回着用します)
- ・クラブ活動費(参加するクラブにより金額が異なります)
- ・学院行事参加費(TOEFL テスト・シアターデイ・デイトリップ等)
- ・その他イベント参加費
- ・退寮時の里帰り旅費(原則として寮生対象)(冬休み：12月下旬~1月初旬および夏休み：6月初旬~8月末は寮生は全員退寮となります)
- ・夏休み退寮時荷物預かり費用または荷物郵送代(翌年在学する生徒は夏休み中、荷物を管理業者へ預けることができます)

## ★ その他

- Q69. 9月に学院に入学するまでの期間、日本において英語等のプログラムはありますか。また個人的にはどのように過ごせば良いでしょうか。アドバイスがあれば教えてください。
- A. 第10学年入学予定者の方で、合格後、日本において英語等のプログラムを希望される場合は、学院カウンセラーにご相談ください。適切な英語の勉強方法などを紹介させていただきます。また、ビザの関係上、プリエントリー・プログラム前に語学研修などの理由で米国の学校に入ることはしないでください。なお、第9学年に入学予定の方は義務教育期間中となりますので、公立中学校などの学校に在籍する必要があります。
- Q70. アメリカでの留学は、ビザが必要と聞きました。学院に入学する場合、日本の学校なので、ビザは必要ありませんか？
- A. 学院は米国ニューヨーク州に認可されている教育法人ですので、以下のステータスを保持していない入学予定者は、入学決定次第、最寄りのアメリカ大使館や領事館で学生ビザ (F-1) を取得していただく必要があります。
- 米国籍
  - 米国永住権
  - 扶養者家族ビザ (E, G, H, L等)

上記ビザを保持している入学予定者は、合法的に学院に入学することができます。

- Q71. 実際に学校の様子を見学したいのですが、見学会などはありますか？また個別の見学は受け付けていますか？
- A. 2月の本学院での説明会、4月のオープンハウスの際、ご見学いただくことができます。また随時、個別のご見学も受け付けています。(2~3組でご案内する場合があります。)学院ホームページに「キャンパス見学申込フォーム (SCHOOL VISIT FORM)」がありますので、必要事項をご入力の上、希望日の1週間前までにお申し込みください。

以上

<<最新の情報、詳細については学院ホームページをご覧ください。>>  
<http://www.keio.edu>

### お問い合わせ先：

慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）事務室 教務・入試担当

TEL: 914-694-4825 E-mail: [keiony@keio.edu](mailto:keiony@keio.edu)

# 資料1

## 2014-2015 COURSES AND CREDITS (GRADE 9-12)

		9 th			10 th			11 th			12 th					
国語	KOKUGO	LANGUAGE	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	A.	E.
国語 9,10,11,12	Kokugo 9,10,11,12	J	5			5			5				5			
<b>社会</b>	<b>SOCIAL STUDIES</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
世界地理	Global Geography	E	4													
世界史/日本史	World/Japanese History	E/J				4										
アメリカ史と政治	U.S. History and Government	E						4								
異文化理解	Cultural (Area) Studies	E						2								
日本近現代史	Social Studies Modern Japanese History	J										4				
経済	Social Studies Economics	E														
政治 (上級)	Social Studies Honors Politics	E													1)4	
政治	Social Studies Politics	E														
異文化理解研究	Social Studies Cultural (Area) Studies Research	E														
<b>数学</b>	<b>MATHEMATICS</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
代数と幾何	Algebra and Geometry	E/J	4													
代数と三角関数	Algebra and Trigonometry	E/J				4										
基礎解析	Precalculus	E/J						4								
上級問題解決演習	Advanced Problem Solving	E/J										1				
統計学	Statistics	J										1				
上級微積分および線形代数 (理系)	Advanced Calculus and Linear Algebra for Science Majors	E/J													2)6	
微積分 (文系)	Calculus for Non-Science Majors	E/J												1)4		
線形代数 (文系)	Linear Algebra for Non-Science Majors	E/J														1)4
<b>理科</b>	<b>SCIENCE</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
生物	Biology	E	5													
化学	Chemistry	E				5										
物理	Physics	E/J						5								
生物 (上級)	Honor Biology	E													2)5	1)5
物理 (上級)	Honor Physics	J														2)5
化学 (上級)	Honor Chemistry	E														2)6
環境科学	Environmental Science	E														1)4
選択生物	General Biology	E										5				
コンピュータ	Computer Literacy	E				2										
<b>英語</b>	<b>ENGLISH</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
英語 9,10,11,12	English 9,10,11,12	E	8			4			4				4			
ドラマ	Drama	E										4				1)4
ライティング	Creative Writing	E										4				1)4
アメリカンカルチャースタディ	American Culture Studies	E										4				1)4
スタディスキルズ	9th Study Skills	J				2										
<b>ESL &amp; ランゲージアート</b>	<b>ESL &amp; LANGUAGE ARTS</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
ランゲージアート 10,11,12	Language Arts 10,11,12	E						*4		*4	4					1)4
上級ランゲージアート	Advanced Language Arts	E						*4								
ESL 10	ESL 10	E						*4								
オーラルコミュニケーション9	Oral Communication 9	E				*2										
オーラルコミュニケーション12	Developing Oral English 12	E														1)4
<b>日本語</b>	<b>NIHONGO</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
日本語 9,10,11,12	Nihongo 9,10,11,12	J				*4			*4				*4			
<b>保健体育</b>	<b>PHYSICAL EDUCATION &amp; HEALTH SCIENCE</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
体育 9,10,11,12	PE 9,10,11,12	E/J	2			2			3				2			
保健	Health Science	J				2										
インディペンデントリビングスキルズ	Independent Living Skills	J											2			
<b>音楽・美術</b>	<b>MUSIC・ART</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
美術 9,10,11,12	Fine Art 9,10,11,12	E	1					2**			2**					1)2
音楽 9	Music 9	J	1													
音楽 10,11,12 (バンド)	Music 10,11,12 (Band)	J						2**			2**					1)2
音楽 10,11,12 (コーラス)	Music 10,11,12 (Chorus)	J														
<b>外国語</b>	<b>FOREIGN LANGUAGE</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>	<b>R.</b>	<b>R.E.</b>	<b>A.</b>	<b>E.</b>
スペイン語 I (初級)	Spanish I (Elem.)	E										4				1)4
スペイン語 II (中級)	Spanish II (Inter)	E														1)4
中国語 I (初級)	Chinese I (Elem.)	E										4				1)4
中国語 II (中級)	Chinese II (Inter)	E														1)4

**Note:**

R. = Required (必修科目)

R.E. = Required Elective (必修選択科目)

E. = Elective (選択科目)

A. = Assigned (指定科目)

\*One (1) Credit" = 45 minute period per week for 35 weeks (45分/週、35週間)

\*\* = Students will be assigned. 1) Non-Science Major (文系) 2) Science Major (理系)

\*\*=Elect either Fine Art, Band or Chorus.

R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	A.	E.
30	0	4	28	2	4	27	2	0-4	4-5	1)21	4	0-4	2-9
										2)17	17	0	0
										1)31-34			2)34
										34			34
										33-34			

## 資料2

### ■ 成績評価

評価は A B C D F P で表わす。Fは不合格である。評価の決め方は、下記の表を参照とする。

A+	98 - 100	C+	77 - 79	F	0 - 59
A	94 - 97	C	73 - 76	P	Pass
A-	90 - 93	C-	70 - 72		
B+	87 - 89	D+	67 - 69		
B	83 - 86	D	63 - 66		
B-	80 - 82	D-	60 - 62		

### ■ GPA (学業平均値)

GPA\*は、履修したすべての科目の評価に基づき、次のように計算される。(\*GPAの値は、小数第4位を四捨五入したもの)

$$GPA = (G1R1 + G2R2 + G3R3 + \dots) \div T$$

G : 各科目の成績から換算される得点 (下の表を参照)

R : 各科目のクレジット

T : 履修した総クレジット数

ただし、

Pass / Fail 科目 : G (各科目の成績から換算される得点) は常に0であるが、Pass の場合には、T (履修した総クレジット数) からその科目のクレジットを引いて、また、Fail の場合には、T に含めて計算する。

Course level / Grade symbol	Elementary	Intermediate/ Normal	Advance/Honors (AP)
A+	3.50	4.00	4.50
A	3.25	3.75	4.25
A-	3.00	3.50	4.00
B+	2.75	3.25	3.75
B	2.50	3.00	3.50
B-	2.25	2.75	3.25
C+	2.00	2.50	3.00
C	1.75	2.25	2.75
C-	1.50	2.00	2.50
D+	1.25	1.75	2.25
D	1.00	1.50	2.00
D-	0.75	1.25	1.75
F	0	0	0
S*	0	0	0
I*	NC	NC	NC

S = Summer Make-Up Credits: GPA への換算は0点として計算。ただし、単位は取得したものとする。

I = Incomplete: 学院が定めた期間内に単位を取得できなければ Fになる。

## 資料3

### **Athletic Clubs**

Fall

Girls: Soccer, Volleyball, Tennis, Swimming, Cross-country

Boys: Soccer, Cross-country

Winter

Girls: Basketball

Boys: Basketball, Swimming

Spring

Girls Softball, Lacrosse, Golf

Boys Baseball, Tennis, Lacrosse, Golf, Rugby

### **Cultural Clubs**

Brass Band, Calligraphy, Chess, Chorus, Fishing, Fukuzawa Research, Karate, Kendo, Orchestra, Performing Arts, Rock Band, Science, Tea Ceremony, Volunteer, and Hip Hop Dance (ZION)

資料4 ニューヨーク学院卒業生進路状況

卒業年度		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	
大学・学部・学科							
慶 應 義 塾 大 学	文学部	10 (7)	2 (1)	9 (8)	11 (6)	6 (3)	
	経済学部	30 (9)	21 (7)	20 (11)	21 (8)	20 (10)	
	法学部	法律学科	10 (5)	10 (4)	10 (3)	11 (7)	10 (5)
		政治学科	10 (6)	10 (4)	10 (7)	11 (6)	10 (7)
	商学部	15 (7)	15 (4)	15 (6)	16 (10)	15 (5)	
	医学部	2 -	2 -	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	理工学部	2 -	5 -	4 (1)	5 (1)	5 -	
	総合政策学部	10 (3)	0 -	15 (9)	16 (5)	5 -	
	環境情報学部	9 (3)	8 (3)	15 (4)	10 (2)	9 (2)	
	看護医療学部	0 -	3 (3)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	
	薬学部薬科学科	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
	薬学部薬学科	1 (1)	1 -	2 (2)	2 (2)	0 -	
	計	99 (41)	77 (26)	103 (53)	108 (51)	83 (34)	
(推薦辞退者)	2 (1)	0 -	0 -	1 -	0 -		
Brown University, USA							
New England Conservatory of Music, USA							
New York University, USA							
Stanford University, USA							
The State University of New York, USA							
Swarthmore College, USA							
The Julliard School, USA							
Wellesley College, USA							
Universidad Nacional Autonoma de Mexico (UNAM)							
University of St. Andrews, UK							
Other							
卒業生数計		101 (42)	77 (26)	103 (53)	109 (51)	83 (34)	

注)

1. 卒業月は6月、( )内は女子で内数。
2. 法学部、総合政策学部、環境情報学部は、卒業した年の9月入学か翌年4月入学を選択できる。  
その他は、翌年4月入学。
3. 薬学部は2008年4月開設。(2007年卒業生より入学)



**<募集人数・学年>** AO入試(秋季・春季)と一般入試 あわせて

第9学年(中学3年)、第10学年(高校1年)各学年 約60名

**<出願資格>** 一般・AO共通

学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の以下の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

第9学年への出願:学校教育の8年目または9年目の課程に在籍

第10学年への出願:学校教育の9年目または10年目の課程に在籍

**<一般入試>**

要項配布開始日:	2015年10月下旬予定
選抜方法:	筆記試験(英語・国語・数学) 面接[本人(英語と日本語)、本人および保護者(親権者)]
出願期間:	2015年12月1日(火)~2016年1月29日(金)必着
筆記試験日:	2016年3月5日(土)
面接試験日:	2016年3月6日(日)、3月7日(月)(学院から半日指定)
ウェブ合否発表日:	2016年3月10日(木)
結果通知発送日:	2016年3月18日(金)

**<AO入試>** 秋と春の2回実施されます。

選抜方法:	第一次選考:書類選考 第二次選考:英語および日本語の小論文、数学基礎計算テスト 面接[本人(英語と日本語)、本人および保護者(親権者)]
-------	--

**AO入試(秋季)**

要項配布開始日:	2015年6月下旬予定
出願期間:	2015年9月2日(水)~9月30日(水)必着
第一次選考ウェブ合否発表日:	2015年10月21日(水)
第一次選考結果通知発送日:	2015年10月30日(金)
第二次選考日:	2015年12月5日(土)、6日(日)
第二次選考ウェブ合否発表日:	2015年12月11日(金)
第二次選考結果通知発送日:	2015年12月16日(水)

**AO入試(春季)**

要項配布開始日:	2016年2月初旬予定
出願期間:	2016年2月16日(火)~2016年4月18日(月)必着
第一次選考ウェブ合否発表日:	2016年5月11日(水)
第一次選考結果通知発送日:	2016年5月20日(金)
第二次選考日:	2016年6月18日(土)、6月19日(日)
第二次選考ウェブ合否発表日:	2016年6月24日(金)
第二次選考結果通知発送日:	2016年6月29日(水)